

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名)株式会社日本海水赤穂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

株式会社日本海水赤穂工場は、温暖な気候の瀬戸内海に面した赤穂の地で、人間の生命を維持するために欠かすことの出来ない、海からの恵みである「赤穂塩」を歴史と伝統を引き継いで生産しております。

1. 企業理念

日本海水グループは人と海を技術でつなぎ、食と健康、そして人びとのよりよい生活に貢献します。

2. 経営方針

1. 技術と英知で、海の恵み、資源を製品・サービスにつなぐ長い歴史と伝統を生かし、豊かで健康な生活に貢献するために、常に新しい提案と新しい価値を実現して行きます。
2. お客様の視点に立ち、共に考え、豊かな創造性と優れた技術により、「安全」で「安心」な商品・サービスを提供いたします。
3. 公正で透明性の高い経営と永続的な企業価値の増大を図り、社会から尊重、信頼される企業を目指します。
4. 社員一人一人が尊重され、自らを高め、挑戦する活力のある集団を目指すと共に、良き企業市民としての責任を自覚して社会と共に歩み、その発展に貢献して参ります。

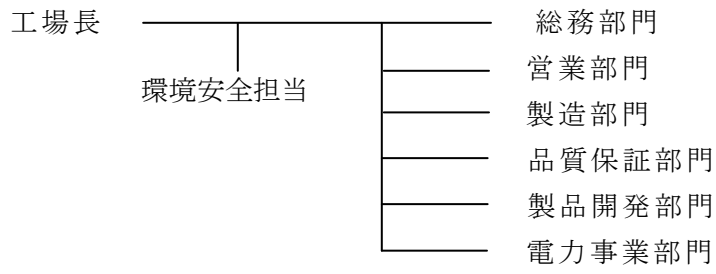
3. 行動指針

以上の企業理念、経営方針のもと、次の事項を継続実施します。

1. 関連する法規制、条例、協定及び自ら定めた基準を遵守します。
2. 開発からお客様が最終製品を消費するまで、全ての工程において不適合をなくすことに努めます。
3. お客様の要望を反映しつつ、安定生産、品質向上、コストダウン、商品開発に努め、お客様に満足いただける企業を目指します。
4. マネジメントシステムが効果的であり続けるよう、その有効性を見直し、システムの継続的な改善を図るとともに、環境汚染の予防及びパフォーマンスの改善に努めます。
5. エネルギー、天然資源等の省資源に努め、廃棄物の削減、リサイクル活動の推進を図り、環境負荷の低減に努めます。
6. 一人一人が労働安全衛生に責任を持ち、全員で安全と健康を確保します。

また、「環境方針」は第三者に公開します。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボイラ、蒸発結晶缶等の熱交換部位（チューブ）の掃除を徹底し、熱効率の改善を図った。 ・ 電気透析交換膜更新による電力原単位向上を図った。 ・ コンベアからの落塩防止対策を実施し、収率の改善を図った ・ フォークリフトのアイドリングストップを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気透析交換膜更新による電力原単位向上 ・ 電気透析設備関連の効率向上 ・ 収率改善対策の継続
CO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマス発電所及び天然ガス発電設備を建設中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマス発電所及び天然ガス発電設備を運用開始し、削減を図る
産業廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃油処理の分別による再資源化の促進を図った。 ・ 石膏を再資源化（路盤材）し、埋め立て処理からの有効利用を実施。 ・ 紙くずを製紙原料として再資源化を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石膏・紙くずの再資源化継続 ・ 廃プラ類の削減
従業員教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適用法規に関して定期的に学習会を実施。 ・ 新入社員に対する自覚教育を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全に関する従業員への教育
水道使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道水からのドレン水への置き換え 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドレン水の有効利用を図る。
日常業務の改善取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要照明消灯、パソコン類の未使用時の電源OFF ・ 空調の適温化 ・ 産業廃棄物の分別化 ・ 両面印刷、両面コピーの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記同様